

# きらめくまちづくり さあ私たちも



シルバー  
やとみ

題字 / 弥富市長 服部 彰文

第 10 号

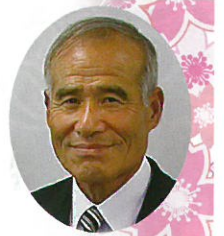
公益社団法人

弥富市シルバー人材センター  
〒498-0021

弥富市鯉浦町上本田95番地1  
高齢者生きがいセンター内

TEL (0567) 65-5515

FAX (0567) 64-2011



# 高齢者の より良い日々を貴方に

会長 吉田 圭助

昨年6月の総会で新たに選任された会長の吉田です。前会長山田氏の後を継いでシルバー人材センター会長の重責を担うことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて高齢化が進む我が国の緊要な課題は社会保障費の抑制です。特に75才以上の高齢者の社会保障支出が年間93万円となり国民平均33万円の

3倍近くで、国の財政圧迫要因となっています。この支出の抑制こそ緊要な課題です。すなわち高齢者の健康増進、医療費抑制こそ我々の目指す目標です。

シルバー人材センターは高齢者が生きがいを見つけ健康で楽しい生活を過ごすために必要な適度の労働と仲間達との交流、そして程々の収入

を提供する高齢者のオアシスです。現役時に培った技術を役立てたい人、より有意義な日々を送りたい人、仲間を見つきたい人、もっと身体を動かしたい人、どうかセンターの会員になって自分の世界を広げてください。センターはお待ちしています。

市民の皆さん、同センターの会員は種々の技術を持って皆様の家庭や事業所の作業をお手伝い出来ます。仕事の手が必要なきときにはどうかセンターへお申し付けください。皆様のお声かけをお待ちしております。



# 市長あいさつ

市長 服部 彰文

皆様方には平素から、市の福祉行政をはじめ市政全般にわたりましてご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、わが国ではいよいよ本格的な高齢化社会に突入し、かつて誰も経験したことのない超高齢社会を迎えています。これから更に高齢化が進む見込みで、高齢者の生きがいづ

くり・社会参加・就労支援の推進や、医療・介護・福祉・生活支援・住まいが一体的に提供される、地域包括ケアシステムの構築が重要な課題となっております。

その中において、高齢者の方々が生きがいを持ち、健康な生活を送っていたいただくためにシルバー人材センターが果たす役割はますます重要な

ものとなっております。

これまでも、会員の皆様方には様々な取り組みを通じて、地域の発展に寄与されてこられました。今後も、健康で働く意欲を持った高齢者の代表として、また、豊かな経験と知識を活かし、地域社会の担い手として、ご活躍されることを期待するところでございます。

昨年は、市制10周年の節目の年を迎え、様々な記念行事を開催させていただきました。いただきましたが、多くの市民の皆様にご喜んでも頂いたのではないかと考えております。その中の一つの事業として、弥富市民が健やかで心豊か

## 役員紹介

会長	吉田 圭助
副会長	早川 文夫
常務理事	石川 敏彦
理事	佐野 光昭
村瀬 美樹	佐藤 満
山森 早智子	吉田 英晴
松本 春義	加賀 健二
横井 覚	長谷川 和子
藤本 博江	猿渡 和好
監事	川上 周二

に暮らすことを願う「健康都市宣言」を行いました。子供たちの笑顔がふれ、幸せに年齢を重ねられるそんな弥富市を目指し、より一層努力して参る所存でございますので、会員の皆様におかれましても、健康に十分ご留意され、センターの発展にご貢献いただきますようお願い申し上げます。挨拶いたします。



シルバー人材センターへGO!

# 会員募集中



あなたもシルバー会員になってお仕事しませんか？  
まずは会員登録を！

弥富市に住む60歳以上の健康で働く意欲のある方ならどなたでも会員になれます。シルバー人材センターの会員になって、活力ある社会作りへの参加と貢献、今までに培ってきた経験を更に発揮、お世話になっている地域社会への恩返し、健康維持のために仕事を楽しむ等、頑張ってみませんか？

- とくに
- ・草取り
  - ・草刈り(機械)
  - ・樹木剪定
  - ・清掃

をしていただける会員さんを募集しております！  
お気軽にお問い合わせください。

## 接遇力研修に思う

加賀健二

去る2月4日、十四山福祉センター集会所で弥富市シルバー人材センター主催による会員の接遇力向上研修会、即ちお客様からの注文をスムーズに図る為の研修であった。講師、宮澤知繁氏を招聘し実施。先生の話聴き昔学んだ論語の一節を思い出した。「曾師のたまわく、吾れ日に三たび吾が身をかえり見る、人の為に謀り忠ならざるか、朋友と交わりて信ならざるか、習わざるを伝うるか」、人の驕りを戒る為に四千年も前から論語は受け継がれ語られて、現代社会にも学ぶ事が多い。一つの言葉、態度、表情が相手、お客様にあたる影響は大きい。シルバーの仕事は基本的にサービス業である。特に個人からの注文はその期待度は大きい。アンケート調査によれば、第一印象は一瞬、約0.4秒で55パーセントまで決まってしまうとか、誠に恐ろしい限りだ。第一印象とは、身だしなみ、表情、態度、姿勢などであり驚き。苦情の要因の多くは言葉の使い方が乱暴、頭ごなし、命令口調、横柄だなどと感じられると誤解が生じ、苦情に発展してしまう。これらの多くは驕りや仕事の慣

れから生じることが殆どと思われる。今回学んだことを教訓にして、これからもお客様に寄り添い、仲間と協力助け合いによってより良い仕事を提供し、お客様に喜ばれる仕事をしたと思う勉強会であった。





穂が出る前に刈り取って



立派なしめ縄に変身



心を込めて小松菜作り



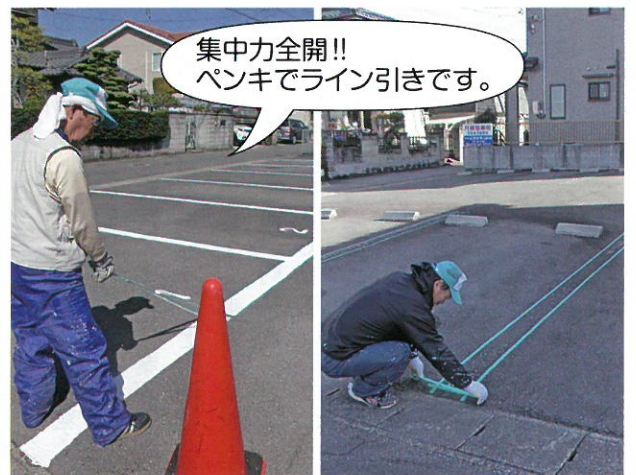
新鮮な野菜を届けます



# 楽しく働き、地域の方に喜んでいただいています。



2m 超えの草もがんばって刈っています。



集中力全開!!  
ペンキでライン引きです。



学校の夏休み中に暑さと戦いながら校庭の手入れをしています。



毛虫に挑んでいます。



除草剤散布、枯れるのに2週間かな。



気持ちよく  
使ってもらうために  
丁寧に清掃します。



力仕事の側溝の  
砂上げもなんのその。



毎日、きちんと掃いて  
拭いています。



みんなが使う公共施設  
なので、清潔を心掛け  
ています。



腕の見せ所です。



# 会員さんたち頑張っています。



どんどん素晴らしい字に  
なっています。



作業前

作業後



お買上ありがとうございます。

野菜が高騰中にもかかわらず、  
安くておいしいこまつ菜大人気。



手作り小物もありますよ。



公園は、  
きれいに使おう。



機械が使えないところは、  
しっかり手で取ろう!!



手で抜くけど、  
手抜きはしないよ。

# 受賞 おめでとうございます

去る平成28年10月25日、愛知県シルバー人材センター事業推進交流大会において、当シルバー人材センター会員6名が県シ連会長表彰受賞の栄に輝きました。



模範会員  
山口和美  
平成21年7月より  
屋内清掃作業に従事



模範会員  
三輪勝美  
平成21年1月より  
屋内清掃作業に従事



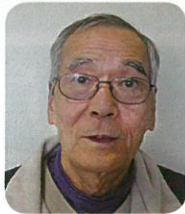
模範会員  
松尾恒幸  
平成20年10月より  
屋内清掃作業に従事



模範会員  
福島修三  
平成20年9月より  
屋内清掃作業に従事



模範会員  
野澤和子  
平成20年6月より  
屋内清掃作業に従事



模範会員  
伊藤順二  
平成17年2月より  
屋内清掃作業に従事

県連合会会長表彰

## 交流大会の模様

平成28年度愛知県シルバー人材センター事業推進交流大会が、名古屋市高年大学鯉城学園鯉城ホールにて、10月25日開催され、会長あいさつ後に、顕彰の部に於いて表彰が行われました。

公益社団法人弥富市シルバー人材センターからは、公益社団法人愛知県シルバー人材センター一連合会会長表彰模範会員として6名の方々が表彰されました。

次に、交流の部のセンター事業に関する事例発表では、公益社団法人安城市シルバー人材センターより「会員数の拡大と就業機会の拡大に向けた取り組みについて」と題して、事例発表が行われました。

取り組みについて、女性会員の拡大及び就業特色として、友人、知人による「コミ入会や女性ならではの就業内容の取り組みが行われました。また、新規事業の開拓やゴールド会員の創設、専門員制度による円滑な事務として会員の専門知識・技術を生かした事務補助が行われました。今後の課題として、派遣事業の推進による就業拡大と介護予防・日常生活支援総合事業の推進に取組むとの発表がありました。

次に、徳川家康と服部半蔵忍者隊による、公演が行われました。

愛知県が推進する「武将観光」をさらに盛り上げていくために、服部半蔵を中心とした7人の忍者で結成された愛知県の観光PR隊です。

忍者隊3名による現世にのみがえった忍者たちの迫力ある演武が披露され、会場は大きな拍手で盛り上がりました。

最後に、公演終了後忍者隊と共に表彰された各市町村シルバー人材センター受賞者との記念撮影が行われました。



佐古木 伊藤 昇

酉年に生まれ、その後7回目の酉年を迎え、周囲では高齢者の運転技能の問題が取り上げられている。私も平成26年4月から当センターに仲間入りさせていただき楽しい日常を過ごさせていただいている。昨年度の会員の年齢別構成でも80歳以上の男子11名、最高齢者は83歳であった。

私は剪定班として一部のお手伝いに過ぎないが最高齢者の仲間入りかと思うが、子どもの頃から木に登って遊ぶのが日常であった為さほど苦痛には思っていないが、軽率に動けば事故に繋がるので注意しながらもう一年も一年と怪我のない日常で仕事に励んでいきたいと思っている。

子宝 佐野和利

弥富市シルバー人材センターに入会してもう数年過ぎました。長い間、屋内の仕事をしてきた自分が、屋外での仕事ができるだろうか不安でした。しかし体力が付き、皆さんと一緒に仕事して協力しながらこれまで来る事が出来ました。

これからもいろいろな事が起きる

と思います。健康に気をつけて、シルバー人材センターの会員として役割を果たしていきたいと思えます。

鯛浦 並河清治

シルバー人材センターに感謝

昭和50年、人間ドックを受診の結果、糖尿病と診断され、医師から食事療法・運動療法を勧められました。昭和63年、福井市・小林病院で、一日の食事を「1600」カロリーと言われましたが、私の不摂生もあり、平成7年、海南病院で検査の結果、ヘモグロビンA1Cが「9.2」の数値がでて、失明や透析の恐れありと糖尿病教室・栄養相談に9回通い薬物療法通院中、そんな折りシルバー人材センターに入会しました。

一日一万歩前後の作業運動量もあつてか、A1Cが「7」前後に下がりました。センターに入会した恩恵と感謝しています。家でゴロゴロしていたら、どうなっていたでしょう。今の自分はないのでは？

今後も健康の許す限り、センターさんにお世話になりたいと思っています。

次の方々も酉年生まれです。(順不同)

- 鯛浦 黒宮せき子
- 竹田 黒宮初代
- 竹田 山崎秀雄
- 東中地 鈴木勝義

会員親睦旅行

企画委員長 松本春義

弥富市シルバー人材センターには年一回会員の親睦旅行があります。目的は会員の親睦と研修です。

平成23年に実施された旅行では、しめ縄作りを学び、その後独自のノウハウで質の高いしめ縄を商品化することができました。

今では当センターの看板商品のひとつになるまで成長し、まさに意義深い旅行でした。

この行事は従来、当センターの公式事業でしたが、平成24年4月の公益社団法人制度改革の施行に伴い、現在は会員相互のいわば自発的行事として実施されております。

さて今回の旅行は、貸切り観光バスを使わず無料の送迎バスを利用する案を軸に見直しを図りました。

「送迎してもらえ宴会ができ温泉もある施設」を調べ南知多温泉郷「花乃丸」が選ばれました。

前年の親睦旅行は秋の馬籠宿、その前は大阪あべのハルカスへの旅でしたから今回はまさに「近場の旅」でした。

そこで旅行のテーマを「近場でゆつくりのんびり」とし、地元の新鮮な料理と天然温泉でゆったりとした気分を親睦を深めていただくことに

注力しました。

当日は会席料理を楽しみながら、おしゃべりやお酒カラオケですいぶん盛りあがりました。

丁度この日は勤労感謝の日。親睦旅行日和でした。改めて皆さんのご協力に心より感謝申し上げます。





# シルバー人材センターは知識や経験を活かして、こんな仕事をしています

- ◆清掃、除草 (手取り・機械刈り・除草剤散布)
- ◆樹木剪定・消毒
- ◆賞状書き、宛名書き、パソコン指導
- ◆施設管理 (自転車整理、施設受付等)
- ◆障子・襖・網戸張り替え、ペンキ塗り
- ◆農場での作業 ◆しめ縄作り



**お知らせ** 平成29年4月1日より  
草取作業の時間単価が845円となりました。(別途事務費8%)



※受付日以前のお申し込みは一切出来ませんのでご了承ください。なお、希望月はお伺いしますが、天候等の都合により、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

※受付日以前のお申し込みは一切出来ません。

※会員への直接申し込みは受け付けておりません。

※電話または事務局窓口で受付

**●申込み方法**

電話または事務局窓口で受付

※平成29年4月～8月の間の剪定作業につきましては、平成29年4月3日(月)午前9時から受け付けます。

**●受付日時**

平成29年6月1日(木)から事務局営業日(月～金) 祝日を除く  
の午前9時～午後5時まで

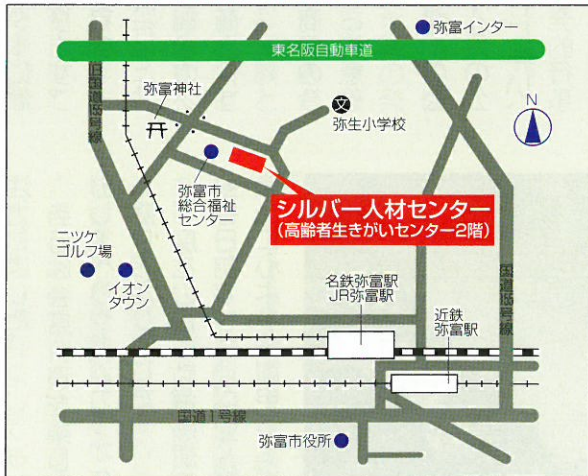
**●剪定期間**

平成29年9月～平成30年3月

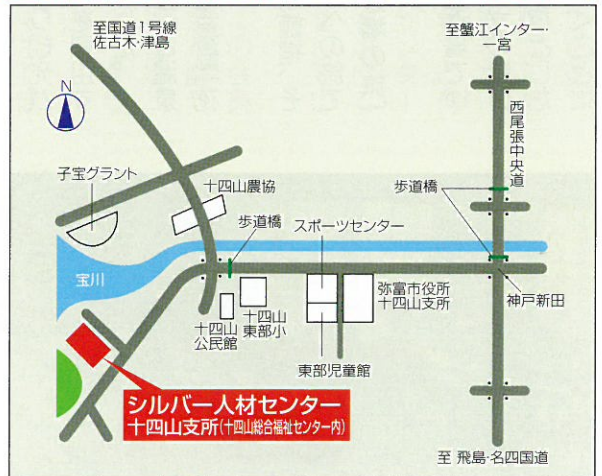
**庭木剪定の受付日が変更になりました**

発行/公益社団法人 弥富市シルバー人材センター

編集・広報委員会  
委員長 吉田圭助  
副委員長 早川文夫  
松本春義・加賀健一・横井 寛・長谷川和子



**本所** 弥富市鯛浦町上本田95番地1  
高齢者生きがいセンター内  
TEL 0567-65-5515 FAX 0567-64-2011  
E-mail : yatomi@sjc.ne.jp



**支所** 弥富市子宝6丁目80番地  
十四山総合福祉センター内  
TEL 0567-56-6030 FAX 0567-52-2655  
E-mail : j-silv@sjc.ne.jp